

# ドメイン名の ライフサイクルマネージメント

2016/12/1

日本ネットワークイネイブラー(株) / DNSOPS.jp

石田慶樹

**イントロダクション**

**ケーススタディ**

**ドメイン名の登録**

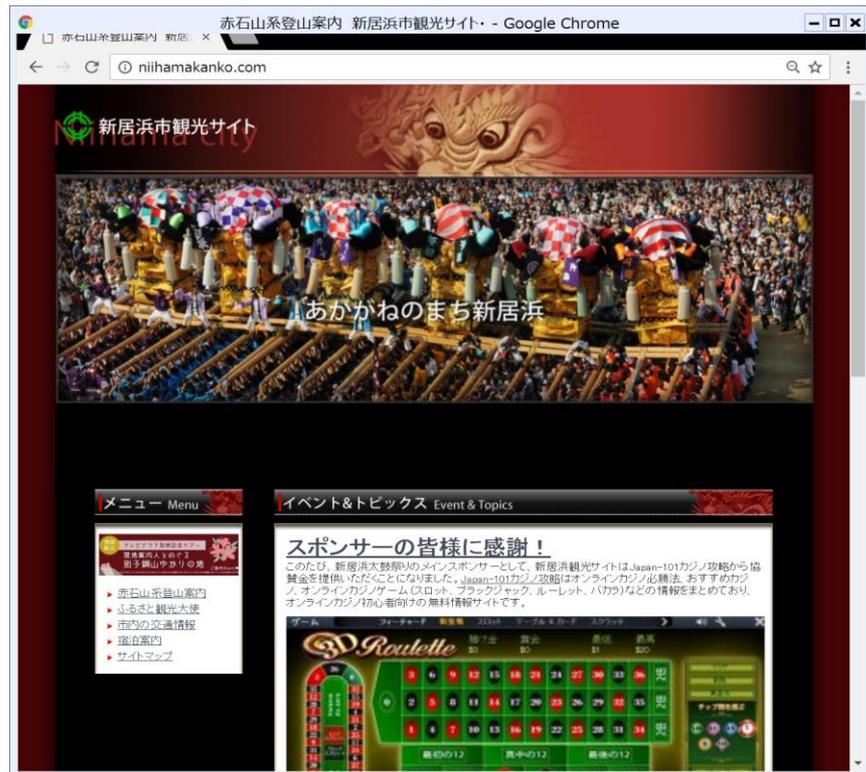
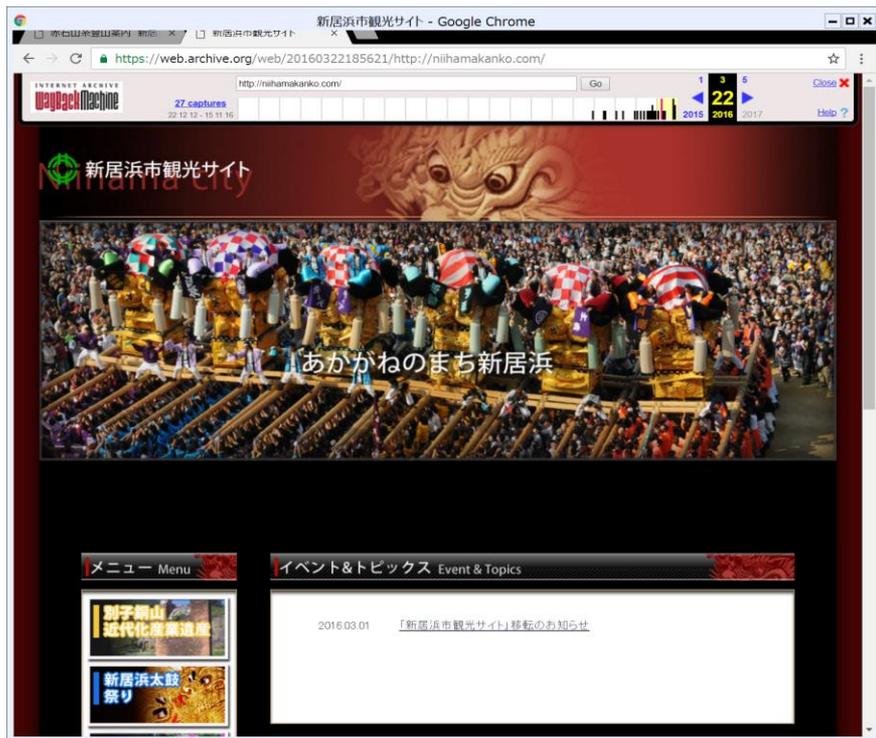
**ドメイン名のライフサイクルマネージメント**

# イントロダクション

- **ドメイン名の低価格化に伴い使い捨てる予定でドメイン名を登録**
- **組織のドメイン名に関するポリシーの変更に伴う移行**  
↓
- **利用終了後に維持料を節約するためにドメイン名を失効**  
↓
- **ドメイン名が一旦失効しても一定のリスクが存在**  
↓
- **ドメイン名のライフサイクルマネジメントの重要性**

- **用語**
  - ドロップキャッチ:**  
失効したドメイン名を再登録が可能となるタイミングで登録すること
  - ドメインパーキング:**  
使用していないドメイン名を管理するサービス
  - ドメインオークション:**  
人気のあるドメイン名をオークション形式で購入するサービス

# 実例1: niihama.com



- コンテンツは乗っ取られているが、ドメイン名はドロップキャッチ
- 現時点では(2016/11/19)レジストラで保持されている状態

# 実例2: cyberjapan.jp



「ドメイン管理ガイド(1.0版)」「(平成27年6月5日内閣官房 情報通信技術(IT)総合戦略室)より抜粋

## (1)ドメイン運用について

### a) 基本原則

ウ) 各府省等が運用する、非 go ドメインサイト  
当該サイトを継続して保有することの必要性を検討し、必要と認められた場合は、速やかに go ドメインへの移行を行うこととする。但し、民間移行の計画があるため等のドメイン移行をしない理由がある場合には、特段の事情がない限り、その理由をサイト上に明記する。

## (3)ドメインの移行方法

### b) go ドメイン以外を利用していた場合

ドメイン移行時には、旧ドメインを1年以上運用し、新ドメインの案内を行う。また、少なくとも旧ドメイン運用停止後の1年間、旧ドメインの所有を行い、利用者が検索サイト等を経由して正規のウェブサイトになりました不正なウェブサイトへ誘導されないよう対策を講ずる。

・当初は「保持を行いません」であったが「継続的に検討」に変更

# 実例3: 全国中学高校Webコンテスト



中学生が取得したドメイン名がアダルトなサイトになる日  
<http://d.hatena.ne.jp/hanazukin/20150204/1423008998>

1. はじめに  
本コンテストでは、ドメイン名をWebサイト制作の一つの要素と位置づけています。

(途中略)

8. ドメイン名の有効期限  
登録したJPDドメイン名の有効期限は下記の通りです。

- ライブラリー作品に選ばれたチーム:  
作品がライブラリーに登録されている限り
- ライブラリー作品に選ばれなかったチーム:  
登録日から2017年3月末まで

<http://webcon.japias.jp/19tqj/Domain.html>

過去のコンテストの受賞作のドメイン名がドロップキャッチされていることが判明

# 実例4: 2012年は当たり年

• shinkansenyear-2012.com



• senkyo2012.jp



# 実例4: 2012年は当たり年 (cont' d)

- shinkansenyear-2012.com



- senkyo2012.jp



## 実例5

- これまでの例以外にもドメイン名の移転や一時的なドメイン名においてドロップキャッチされたケースは多数
  - warnermycal.com, ansibleworks.com等々
- ドロップキャッチされずにレジストラやリセラーや専門業者がドメインパーキングしているケース
- ドメイン名そのものではなく外部に設定していたネームサーバのドメイン名がドロップキャッチされて乗っ取られるというインシデントも発生

# ドメイン名の登録

## •ドメイン名の登録目的

### •組織指向

- 組織用ドメイン名
- ブランド用ドメイン名

### •非組織指向

- サービス用ドメイン名
- イベント用ドメイン名

# ドメイン名の登録

- **なぜ新たなドメイン名の登録を行うのか  
(組織指向ドメイン名のサブドメイン名ではないのか)**
  - サブドメイン名は分りにくい
  - 組織内で設定・変更するのに時間がかかる
  - SEO対策
  - 組織のポリシーにより困難
    - Webの運用を外部へのアウトソース
    - メール・アドレスや証明書の問題

⇒使い捨てる予定で新たなドメイン名を登録する

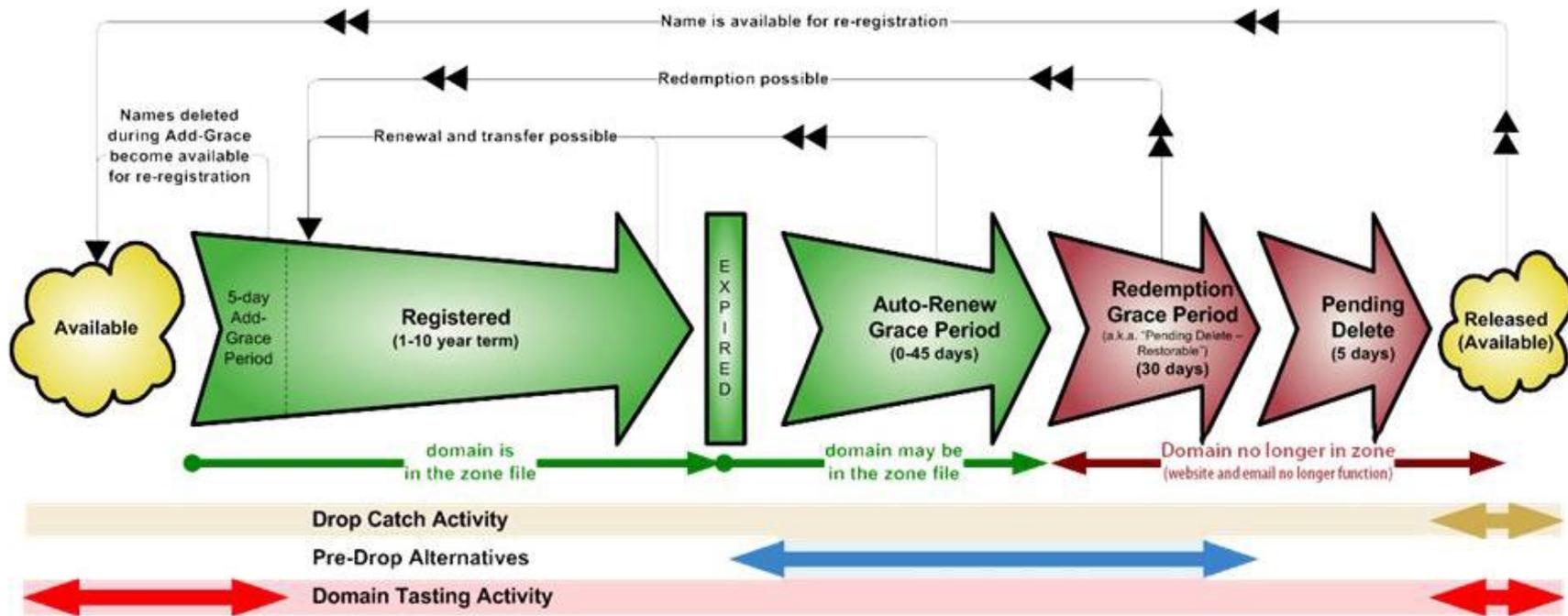
⇒利用後にドメイン名を失効

⇒ドロップキャッチやドメインパーキング等のリスク

# ドメイン名の登録

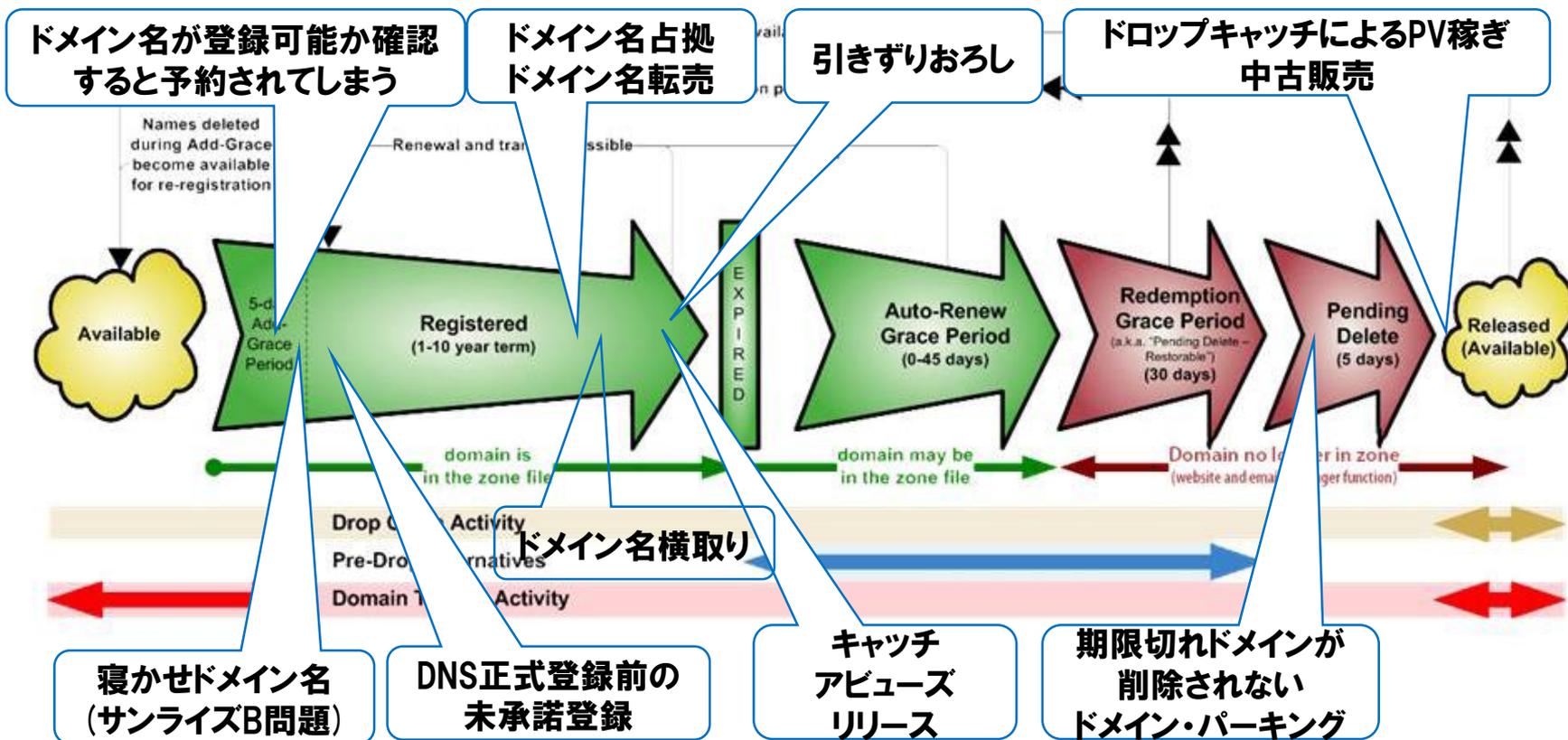
- **なぜドロップキャッチが発生するのか**
  - **既存のWebサイトが持っているページビューを労せず獲得可**
  - **すでに複数のリンクがありかつ検索エンジンに掲載済み**
  - **SEO対策としてもデメリットが少ない**
  - **一部のドメイン名ビジネスの業者も積極的に加担**
  - **専門の業者も存在**

# ドメイン名のライフサイクルマネージメント



<http://www.icann.org/en/resources/registrars/gtld-lifecycle>

# ドメイン名のライフサイクル管理



# ドメイン名のライフサイクルマネージメント

- 使い捨て感覚でドメイン名を登録しない
  - 登録したドメイン名の失効で組織に思わぬリスクが発生
  - 一旦登録したら継続を覚悟
- 廃止するのであれば数年かけて注意深い作業が必要
  - Web/DNSの両方
- レジストリ/レジストラは何らかのメニュー提供できないのか
  - 100年間の登録サービスも存在

- 存在しなくなった組織や物故者が所有していたドメイン名の問題
  - 「ドメイン名の永代供養」



# ドメイン名のライフサイクルマネージメント ご利用は計画的に

